

特徴を知って被害を防ぐ

アライグマの特徴



アライグマの前足



木登りの様子



アライグマ



- 尾に縞模様がある
- 耳の縁とヒゲは白
- 鼻筋は白くない

間違えやすい動物

タヌキ



尾に縞模様がない
耳の縁は黒
肩に黒い模様

アナグマ



尾は短い
足は短く黒い
目の周辺だけ黒模様

長い指で器用に物をつかむことができるため、果樹袋を破いて果実を食べたり、わなを壊して逃げたりとやっかいです。細い木や支柱も簡単に登ります。

被害を防ぐには、相手に応じた侵入防止対策が必要です。左のように5本指の足跡が並んでついているなら、アライグマと考えて間違いのないでしょう。



側溝内の足跡



竹林を歩く様子



獣道

山奥よりも、町や農地に近い水路や竹林、広葉樹林をよく利用しています。農地近くのそのような場所の足跡や獣道の有無を調べ、どこから来ているか把握することも対策を考える上で重要です。利用環境内にわなを置くことで捕獲の可能性が高まると考えられます。



柱についた爪痕

春には子育てのため屋根裏等へ侵入することが多々あります。柱や壁の一部の黒ずみ、足跡、爪痕等から侵入口を調べて塞ぐ等の対処が必要になります。

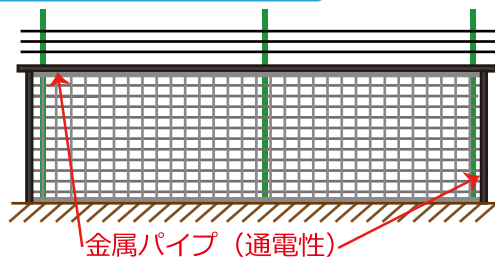
効果的な防護柵

- 捕獲を効率よく行うためにも、まずは農地に侵入されないようしっかり護ることが重要です！
- 単なるネットや金網柵だけでは簡単に乗り越えられてしまうので、電気柵との組み合わせが効果的です。

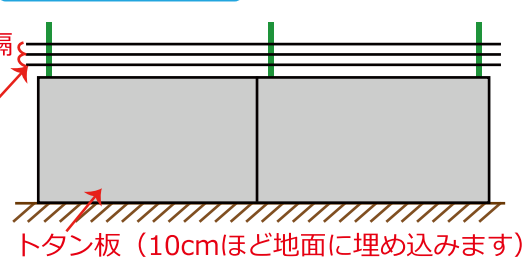


金網柵を登るアライグマ

電気柵+ネット・金網



電気柵+トタン



- どちらの柵も乗り越えようとして登ったところで感電させて侵入を防ぎます。
- 地際に隙間があると潜り抜けてしまいます。ネットの破れ等も定期的な点検しましょう。
- 電気柵のみで防護する場合は、地上から10cm間隔で電線を3~4本張りましょう。(その場合はしっかりと草刈りして管理する必要があります)

よくある失敗例

- 十分な電気を流していても、設置方法が悪いと有効に作動しません。
- 電線に雑草やツルが触れていませんか？定期的な草刈をして、草木の接触による漏電を防ぎましょう。
- ガイシが内側を向いていると、電気の流れない支柱に触れて侵入されます。
- アースを設置した地面に電気が流れるように、組み合わせ柵なら通電性の素材を使うこと、電気柵のみならコンクリートの地面を避けることも大切です。



電線に触れてしまった雑草



内向きのガイシ

※電気柵は「電気事業法に基づく電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い、安全に正しく設置しましょう。